

園だより 9月

主よ、あなたの道をわたしに示し、あなたに従う道を教えてください。

詩篇 25 篇 4 節

猛暑の夏休み。いかがお過ごしでしたか。

夏期保育が始まり元気な子どもたちとの再会で溢れるエネルギーをもらい、二学期が始まる喜びと楽しみを感じながら9月を迎えております。夏休みの出来事、目を輝かせ話す子どもたち。様々な体験を通して感じた楽しかったことや感動をたくさん伝えてくれました。

私は夏休み、自宅近くの保育園で乳児保育ボランティアをさせていただきました。幼稚園教諭として幼児期の成長の育みを考え深め続ける中、幼児期の前段階にある乳児期の保育に興味湧き、乳児保育を経験できる機会を願っておりました。

乳児に関しては、家族と乳児という密度の濃い関係性の中で育まれる愛着の深まりや年齢に相応した発達など、我が子たちを育てた経験の中イメージすることができました。が、複数の乳児が保育者と共に集団で過ごす中育まれる愛着や様々な成長に関しては、イメージすることの難しさを感じておりました。そしてこの夏休み、願いが叶いボランティアで参加させていただくことができたのです。

0歳児(1歳前後)、1歳児(2歳前後)、2歳児(3歳前後)の子どもたち。まだ言葉を介しての意思疎通が難しい乳児、けれども0歳児であってもちゃんと自分の想いを伝える術を持っており集団の中で発揮されていました。1歳児は自と他を認識しつつ自己の想いや感情を如何に表現しようかと様々に心を動かしていました。2歳児は集団の中での自分、一人で色々できることの喜び、年下の子どもに対する年上の役割、集団での育みが活かされたその環境の中で、想いを巡らせ各々遊びを展開していました。とにかく小さな体にみなぎっている生きる力に感動の毎日でした。そしてこの貴重なボランティア体験を通し、改めて幼児期を生きている幼稚園の子どもたちから溢れる伸びゆく力の今に、更なる期待を感じています。

これから始まる2学期、充実した日々を子どもたちと共に探究し、想いを深めて参りたいと願います。2学期は保護者の皆様にたくさんのお支えとご協力をいただきます。よろしく願い申し上げます。

園長 駿河 幸子